

あまね すく こころ 普く濟う心 — 立塔供養 衆生に利益する — (五版)

こころは見えず触れない み さわ
こころにやどる大事さを だいじ
いかにあらわし伝えなん つた

お塔婆立ててあらわすは とうばた
あまねく濟うみほとけの すく
分け隔てなきこころなり わ へだ

供養のまことは手伝いと くよう てつだ
祈りを込めて立てるとき いの こ た
利益のちからは限りなし りやく かぎ

知らずに具わる尊さも し そな とうと
功德もつつしみ回向せば くどく えこう
我らはまさに濟われん われ すく

宮城県大崎市 瑞川寺住職 木村謙文